



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 大 光
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 金 森 武
(コード番号：3160)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 山 大 介
兼 総 務 部 長
(TEL. 0584-89-7777)

(訂正) 平成 26 年 5 月 期 第 3 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結) の 一 部 訂 正 に つ い て

当社は、平成 27 年 4 月 30 日付「社内調査委員会からの調査報告書の受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正を進めてまいりました。

このたび、平成 26 年 3 月 28 日付「平成 26 年 5 月 期 第 3 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結)」の訂正が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	33,540	6.9	△34	—	△29	=	△360	—
25年5月期第3四半期	31,374	2.6	21	△93.0	45	△85.8	△42	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 △330百万円 (—%) 25年5月期第3四半期 70百万円 (△56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	△60.94	—
25年5月期第3四半期	△7.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第3四半期	16,610	1,754	10.6	296.29
25年5月期	16,652	2,144	12.9	362.13

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 1,754百万円 25年5月期 2,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年5月期	—	5.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,718	11.0	272	24.5	273	7.0	150	73.8	25.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期3Q	6,021,600 株	25年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期3Q	100,004 株	25年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期3Q	5,921,596 株	25年5月期3Q	5,883,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が進み、輸出環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクや、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要及びその反動による影響が懸念されるものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇、競争激化による販売価格の低下など、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は335億40百万円（前年同期比6.9%増）となったものの、食品価格の高騰や、競合他社との販売競争激化による売上総利益率の低下、電気料金の上昇による光熱費の増加等により、営業損失は34百万円（前年同期は営業利益21百万円）、経常損失は29百万円（前年同期は経常利益45百万円）、連結子会社株式会社マリンデリカのナマコ取引に関して水産品事業関連損失2億86百万円を特別損失に計上したこと等により四半期純損失は3億60百万円（前年同期は四半期純損失42百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。

また、新たな教育研修を導入し、提案型営業の強化に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は204億90百万円（前年同期比9.2%増）となり、営業損失は1億26百万円（前年同期は営業損失1億14百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買い物いただけるよう、平成25年6月に高針店（名古屋市名東区）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、その他店舗においても、営業活動の強化を図り、客数の増加に努めてまいりました。前連結会計年度に開設した豊橋佐藤店、竹ノ塚店や、ネットショップが売上拡大に寄与いたしました。一方で、店舗の増加及びリニューアルに伴い諸経費を計上したほか、光熱費の上昇等により経費が増加いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は117億61百万円（前年同期比0.7%増）となり、営業利益は7億86百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として38店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンデリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、輸出事業の強化など国内外への販路拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は12億89百万円（前年同期比38.6%増）となり、営業損失は61百万円（前年同期は営業損失1億50百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して貸倒引当金が3億18百万円増加したものの商品が4億65百万円増加したこと等により、流動資産は全体で1億80百万円増加しました。一方固定資産は、建物及び構築物が1億74百万円減少したこと等により、全体で2億22百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して41百万円減少し、166億10百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が8億3百万円減少したものの、短期借入金が18億19百万円増加したこと等により、流動負債は全体で8億15百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が5億12百万円減少したこと等により、全体で4億67百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して3億48百万円増加し、148億55百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が4億20百万円減少したこと等により、全体で3億89百万円減少し17億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の業績予想につきましては、平成25年12月19日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	857,884	737,710
受取手形及び売掛金	3,921,926	3,783,911
有価証券	—	14,493
商品	2,811,383	<u>3,276,763</u>
貯蔵品	14,231	8,354
繰延税金資産	85,745	67,437
その他	722,432	<u>1,023,418</u>
貸倒引当金	△18,323	<u>△336,498</u>
流動資産合計	8,395,279	<u>8,575,592</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,119,263	<u>3,944,898</u>
その他(純額)	951,130	<u>919,699</u>
有形固定資産合計	5,070,393	<u>4,864,598</u>
無形固定資産	55,576	<u>59,070</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744,406	1,734,638
その他	1,411,007	1,399,532
貸倒引当金	△24,500	△23,013
投資その他の資産合計	3,130,914	3,111,157
固定資産合計	8,256,884	<u>8,034,826</u>
資産合計	16,652,164	<u>16,610,419</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,695,593	3,892,373
短期借入金	2,246,000	4,065,000
1年内返済予定の長期借入金	2,076,986	1,912,906
未払法人税等	51,355	—
賞与引当金	127,962	74,875
ポイント引当金	31,706	34,041
その他	590,235	656,328
流動負債合計	9,819,840	10,635,525
固定負債		
長期借入金	3,915,619	3,403,441
退職給付引当金	202,697	219,808
役員退職慰労引当金	232,985	220,655
資産除去債務	243,972	247,730
その他	92,641	128,722
固定負債合計	4,687,915	4,220,358
負債合計	14,507,755	14,855,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,288,914	868,810
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,108,876	1,688,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,717	65,835
繰延ヘッジ損益	△183	△71
その他の包括利益累計額合計	35,533	65,764
純資産合計	2,144,409	1,754,536
負債純資産合計	16,652,164	16,610,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	31,374,946	33,540,570
売上原価	25,210,305	27,197,258
売上総利益	6,164,641	6,343,311
販売費及び一般管理費	6,142,715	6,377,968
営業利益又は営業損失(△)	21,926	△34,656
営業外収益		
受取利息	9,812	8,858
受取配当金	4,754	5,732
受取賃貸料	31,944	32,932
受取手数料	13,460	14,257
その他	42,663	19,063
営業外収益合計	102,635	80,844
営業外費用		
支払利息	37,878	37,355
賃貸費用	28,819	28,302
固定資産除売却損	9,648	5,841
その他	3,126	4,265
営業外費用合計	79,473	75,764
経常利益又は経常損失(△)	45,088	△29,576
特別利益		
投資有価証券売却益	233	2,731
特別利益合計	233	2,731
特別損失		
減損損失	—	9,295
水産品事業関連損失	—	286,440
出店計画中止損失	—	14,378
特別損失合計	—	310,113
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	45,322	△336,958
法人税、住民税及び事業税	34,642	7,224
法人税等調整額	53,071	16,705
法人税等合計	87,714	23,929
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△42,391	△360,888
四半期純損失(△)	△42,391	△360,888

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△42,391	<u>△360,888</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,992	30,118
繰延ヘッジ損益	3,198	112
その他の包括利益合計	113,191	30,231
四半期包括利益	70,799	<u>△330,657</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,799	<u>△330,657</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,763,978	11,680,828	930,140	31,374,946	—	31,374,946
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	13,360	67,907	81,270	△81,270	—
計	18,763,981	11,694,188	998,047	31,456,217	△81,270	31,374,946
セグメント利益又は損失(△)	△114,932	927,176	△150,316	661,927	△640,001	21,926

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△640,001千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,490,248	11,761,077	<u>1,289,244</u>	<u>33,540,570</u>	—	<u>33,540,570</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	16,209	62,798	79,008	△79,008	—
計	20,490,248	11,777,287	<u>1,352,043</u>	<u>33,619,579</u>	△79,008	<u>33,540,570</u>
セグメント利益又は損失(△)	△126,887	786,975	<u>△61,834</u>	<u>598,253</u>	△632,910	<u>△34,656</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△632,910千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

(訂正前)



平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月28日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	34,833	11.0	△0	—	4	△89.8	△30	—
25年5月期第3四半期	31,374	2.6	21	△93.0	45	△85.8	△42	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 △0百万円 (—%) 25年5月期第3四半期 70百万円 (△56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	△5.23	—
25年5月期第3四半期	△7.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年5月期第3四半期	16,937	—	2,084	—	12.3	352.00
25年5月期	16,652	—	2,144	—	12.9	362.13

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 2,084百万円 25年5月期 2,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年5月期	—	5.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,718	11.0	272	24.5	273	7.0	150	73.8	25.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期3Q	6,021,600 株	25年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期3Q	100,004 株	25年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期3Q	5,921,596 株	25年5月期3Q	5,883,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が進み、輸出環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクや、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要及びその反動による影響が懸念されるものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇、競争激化による販売価格の低下など、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は348億33百万円（前年同期比11.0%増）となったものの、食品価格の高騰や、競合他社との販売競争激化による売上総利益率の低下、電気料金の上昇による光熱費の増加等により、営業損失は0百万円（前年同期は営業利益21百万円）、経常利益は4百万円（前年同期比89.8%減）、四半期純損失は30百万円（前年同期は四半期純損失42百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。

また、新たな教育研修を導入し、提案型営業の強化に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は204億90百万円（前年同期比9.2%増）となり、営業損失は1億26百万円（前年同期は営業損失1億14百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買い物いただけるよう、平成25年6月に高針店（名古屋市名東区）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、その他店舗においても、営業活動の強化を図り、客数の増加に努めてまいりました。前連結会計年度に開設した豊橋佐藤店、竹ノ塚店や、ネットショップが売上拡大に寄与いたしました。一方で、店舗の増加及びリニューアルに伴い諸経費を計上したほか、光熱費の上昇等により経費が増加いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は117億61百万円（前年同期比0.7%増）となり、営業利益は7億86百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として38店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、輸出事業の強化など国内外への販路拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は25億82百万円（前年同期比177.6%増）となり、営業損失は27百万円（前年同期は営業損失1億50百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して商品が5億28百万円増加したこと等により、流動資産は全体で4億98百万円増加しました。一方固定資産は、建物及び構築物が1億73百万円減少したこと等により、全体で2億13百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して2億84百万円増加し、169億37百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が8億3百万円減少したものの、短期借入金が18億19百万円増加したこと等により、流動負債は全体で8億12百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が5億12百万円減少したこと等により、全体で4億67百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して3億44百万円増加し、148億52百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が90百万円減少したこと等により、全体で59百万円減少し20億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の業績予想につきましては、平成25年12月19日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	857,884	737,710
受取手形及び売掛金	3,921,926	3,783,911
有価証券	—	14,493
商品	2,811,383	3,339,763
貯蔵品	14,231	8,354
繰延税金資産	85,745	67,437
その他	722,432	957,268
貸倒引当金	△18,323	△14,988
流動資産合計	8,395,279	8,893,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,119,263	3,946,160
その他(純額)	951,130	920,815
有形固定資産合計	5,070,393	4,866,975
無形固定資産		
投資その他の資産	55,576	65,073
投資有価証券	1,744,406	1,734,638
その他	1,411,007	1,399,532
貸倒引当金	△24,500	△23,013
投資その他の資産合計	3,130,914	3,111,157
固定資産合計	8,256,884	8,043,206
資産合計	16,652,164	16,937,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,695,593	3,892,373
短期借入金	2,246,000	4,065,000
1年内返済予定の長期借入金	2,076,986	1,912,906
未払法人税等	51,355	—
賞与引当金	127,962	74,875
ポイント引当金	31,706	34,041
その他	590,235	<u>653,178</u>
流動負債合計	9,819,840	<u>10,632,375</u>
固定負債		
長期借入金	3,915,619	3,403,441
退職給付引当金	202,697	219,808
役員退職慰労引当金	232,985	220,655
資産除去債務	243,972	247,730
その他	92,641	128,722
固定負債合計	4,687,915	4,220,358
負債合計	14,507,755	<u>14,852,733</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,288,914	<u>1,198,699</u>
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,108,876	<u>2,018,660</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,717	65,835
繰延ヘッジ損益	△183	△71
その他の包括利益累計額合計	35,533	65,764
純資産合計	2,144,409	<u>2,084,425</u>
負債純資産合計	16,652,164	<u>16,937,159</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	31,374,946	34,833,544
売上原価	25,210,305	28,455,162
売上総利益	6,164,641	6,378,381
販売費及び一般管理費	6,142,715	6,378,884
営業利益又は営業損失(△)	21,926	△502
営業外収益		
受取利息	9,812	8,858
受取配当金	4,754	5,732
受取賃貸料	31,944	32,932
受取手数料	13,460	14,257
その他	42,663	19,063
営業外収益合計	102,635	80,844
営業外費用		
支払利息	37,878	37,355
賃貸費用	28,819	28,302
固定資産除売却損	9,648	5,841
その他	3,126	4,265
営業外費用合計	79,473	75,764
経常利益	45,088	4,577
特別利益		
投資有価証券売却益	233	2,731
特別利益合計	233	2,731
特別損失		
出店計画中止損失	—	14,378
特別損失合計	—	14,378
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	45,322	△7,069
法人税、住民税及び事業税	34,642	7,224
法人税等調整額	53,071	16,705
法人税等合計	87,714	23,929
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△42,391	△30,999
四半期純損失(△)	△42,391	△30,999

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△42,391	△30,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,992	30,118
繰延ヘッジ損益	3,198	112
その他の包括利益合計	113,191	30,231
四半期包括利益	70,799	△768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,799	△768
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,763,978	11,680,828	930,140	31,374,946	—	31,374,946
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	13,360	67,907	81,270	△81,270	—
計	18,763,981	11,694,188	998,047	31,456,217	△81,270	31,374,946
セグメント利益又は損失(△)	△114,932	927,176	△150,316	661,927	△640,001	21,926

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△640,001千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,490,248	11,761,077	2,582,218	34,833,544	—	34,833,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	16,209	62,798	79,008	△79,008	—
計	20,490,248	11,777,287	2,645,017	34,912,553	△79,008	34,833,544
セグメント利益又は損失(△)	△126,887	786,975	△27,680	632,408	△632,910	△502

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△632,910千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。